



コーヒーノキ *Coffea arabica* アカネ科

名古屋大学博物館友の会 NUM 友の会ニュースレター No.79 2025 年夏号

書面総会のお知らせ

名古屋大学博物館友の会会員の皆様
2025 年度の総会は、書面による提案とさせていただきます。

名古屋大学博物館友の会 2025 年度書面総会議案書 2024 年度活動報告

1. 会員 154 名 (2025 年 3 月 31 日現在)
2. ニュースレター発行
No. 74 (2024. 4. 15) No. 75 (2024. 7. 29)
No. 76 (2024. 10. 21) No. 77 (2024. 12. 16)
3. 活動内容
 - 1) 友の会の集い 再開 2024. 6. 29
 - 2) サークル活動
 - ①ボタニカルアートサークル
 - ②写真サークル
 - 3) ボタニカルアートカレンダー発行
4. 会計報告 (2024. 4. 1~2025. 3. 31)

1. 収入	円	
前年度繰越額		702,535
2024 年度収入額	2024 年度分	37,000
2025 年度分		205,000
2. 支出		
郵送代 (ニュースレター発送費等)		94,582
謝金		49,000
カレンダー作成補助		-12,480
事務経費など (印刷・事務用品購入・PC セキュリティ更新等)		185,816
3. 残金		
2024 年度差引額	収入	907,535
	支出	316,918
	差引	590,617
4. 来年度繰越額		590,617

2025 年度活動方針

1. ニュースレター発行予定 (4 回)
2025 年 4 月、7 月、10 月、12 月
2. サークル活動支援
ボタニカルアートサークル
写真サークル
その他
3. ボタニカルアートカレンダー2026 発行
4. 会員限定企画の充実
 - 1) ギャラリートーク~担当教員等による特別展・企画展の展示内容の解説
 - 2) 講演会や各種行事における会員特別枠の設定
 - 3) 行事予定の早期発信
 - 4) 博物館教員等との交流
 - 5) 自主活動としてのサークル・同好会の結成
 - 6) 会員相互の親睦 博物館ツアーなど
 - 7) その他
5. 博物館活動に対するボランティア活動のお願い
友の会事務局の作業補助 (ニュースレター、各種案内の発送)
6. 2025 年度事務局体制
代表: 足立 守
副代表: 川瀬隆夫
会計: 松本晃子
広報: 小林身哉、西口幸子、竹内まゆ美
会計監査: 山田富久

以上の議案の賛否を、同封のハガキにて
8 月 31 日 (日) (消印有効) までに提出してください。差出人の署名は自由です。意見や近況もお書きください。結果は、次回のニュースレターでご報告します。

万葉の花 17

シダレヤナギ

三矢保永

あおやぎ くは
青柳の 糸の細しさ 春風に 乱れぬい間に
見せむ子のがも

作者不詳 万葉集巻十 1851

大意 青々と芽吹いた糸のような柳の枝の美しいことよ。その柳が春風に乱されない今の間に、誰かに見せたいと思う。そのように見せたい乙女がいたらよいのに。

注 “青柳の糸”は芽吹いたばかりの枝垂れ柳の細い枝、“細しい”は美しい、“い間”の“い”は接頭語。前半の情景描写から、初々しい乙女の容姿を想起させて、そのように美しい恋人がいてほしいと願っている内容です。集中に読まれている柳は、36首（説によって多少の増減あり）もあり、人気の植物といえます。大別すると、枝垂れ性と立ち性のものがあり、後者には、カワヤナギ、ネコヤナギなどが含まれ、楊の字が当てられます（例外あり）。枝垂れ柳は春を告げる新緑の季節感や風になびく風情から、鑑賞用として愛でられていました。その他にも、霊能力が宿るお呪いとしての髪飾り（鬘）、実用的には葛籠の材料（柳行李など）に使われ、さらには堤の地固めにも使われていたようです。

参考文献1：山田卓三 万葉植物事典 北隆館



雄花
撮影 写真サークル 森本一史
撮影地 名城公園

会員随想

矢並町の湿地と弾薬庫跡

山田富久

時が少し遡る。昨秋、豊田市内の矢並湿地で一般公開があるとの情報を得た。湿地という地形も、貴重な湿地植物も見られる。鞍ヶ池公園から臨時バスが出るので、公共交通で行ける。矢並湿地は、東海丘陵湧水湿地群の一つでもあり面白そうだ。

10月10日、矢並湿地のシラタマホシクサやミカワシオガマを見て回ると、矢並小学校の生徒が要所で解説をしてくれる。棒読みがカワイイ。課外授業の取り組みだ。

鞍ヶ池公園の住所は「矢並町法沢」で、覚えのある地名だった。太平洋戦争末期、弾薬保管用に横穴が掘られた場所、すなわち弾薬庫の疎開先だ。

9年前のある調査で、横穴は崩落または埋立により残っていないことが分かっている。一つくらい残っているかもとの期待、そして横穴の跡だけでも確認出来ればとの思いから、横穴を探してみる気になっていた。

まずは、矢並湿地までのバスの運転手さんに聞く。別の町に住んでいるので知らないとの由。湿地の受付で同じ質問をしたが、若いので知らない。「天野さんならわかるかもしれん」との声に従い、戻ってきたご本人に聞く。「横穴は残っていないけど、潰れた跡ならある」とのことで、位置を尋ねた。横穴跡にたどり着けそうな気がしてきた。

名古屋市内の千種公園の北側一帯、学校群がある場所は、戦前「名古屋陸軍兵器補給廠（千種本部）」だった。兵器や弾薬を保管・修理する陸軍施設だ。空襲から逃れるため、学童疎開や三菱などの軍需産業の工場疎開と同様に、陸軍施設（補給廠・造兵廠）も名古屋市の近郊に疎開した。補給廠の中で一番危険な弾薬は、山がちの矢並町に疎開したのだ。1944年9月以降、丘陵の麓に三十数個の横穴を掘って、弾薬を移設したことがわかっている。

なおユリで有名な千種公園は、小銃や機関銃などの兵器を生産した「名古屋陸軍造兵廠 千種製造所」の跡地だ。

さて湿地見学のあと、午後は丘陵で横穴探した。横穴は上から見ると「コ」の字型を90度左回転させた形で、2つの穴を奥へと掘り進み、奥でつながっている。風通しを考慮したのだろう。（続く）

Artist Earth 地球は芸術家 29

ビカリア(Vicarya)と「月のおさがり」

足立 守

岐阜県南部の瑞浪は、今から約 1800-1500 万年前の浅い海に生息していた多くの貝、サメの歯、海獣デスモチルスなどの保存状態のいい化石が見つかることで古くから有名です。これまでに 1500 種類以上の化石が発見されていますが、貝化石の中で一番人気があるのが月吉層から見つかる巻貝のビカリアです。

ビカリア(写真左)は新生代中新世の代表的な示準化石(かつ当時の環境が分かる示相化石)で、長さ 10cm 程の円錐形の殻にトゲが一行になつて規則的についているのが特徴です。ビカリアが生息していた環境が暖かい浅い海(一部は干潟)だったことは、ビカリアと一緒に熱帯(～亜熱帯)マングローブ林を特徴づけるメヒルギの花粉化石が見つかることから推定されています。浅い海のすぐ近くに陸地があったことは、貝化石の出る地層に木の葉や木片の化石がたくさん含まれていることから分かります。

月吉のビカリアには、殻が溶けてなくなり内型だけがオパール($\text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}$)や方解石(CaCO_3)に置き換わった珍しい保存状態の化石(写真右)があります。このらせん状の化石は古くから「月のおさがり」(お月さまの“ウンチ”)と呼ばれています。「月のおさがり」には白っぽいもののほか、青黒いもの、褐色のもの、ごくまれに淡黄色のものも見られます。



ビカリア



「月のおさがり」
(Wikipedia より)

ビカリアは岐阜県の瑞浪だけでなく、富山県、福井県、岡山県などに分布する月吉層と同時代の地層からもたくさん見つかりますが、いわゆる「月のおさがり」は瑞浪の月吉だけです。その神秘的な形状と希少性から、第二次大戦中には、「月のおさがり」を身につけていると鉄砲の弾が当たらない(戦争で死なない)という噂が広がり、兵隊さんのお守りとして珍重されたことがあったそうです。

会員随想

カリアンドラ

なかざわまりこ

5 月下旬のある夕方、インターフォンが鳴り「お庭の白い花、写真を撮らせてください」「どうぞ」といって玄関に出てみると「昨日よりいっぱいさいていますね。毎日散歩で見えていますので」と見知らぬ笑顔の美しいご婦人。花の名前を問われ、カリアンドラ(ホワイトパウダー)で、ニューヨークのセントラルパーク 5 月の空の下で出会い、ようよう探し出し、50 センチほどの若い木が 2 階の高さまで成長したのだとお気に入りの話をする。開花時の香りは微かではあるが、上品、優雅、甘く酔いしれてしまう。このご婦人にも披露して二重に楽しんでいただいた。



この 1 月、私自身の不注意から“一寸先は闇”を体験し、日々静養に努める間にこの花のたくさんのつぼみを見つけた。そうだ、花開く 5 月(私の誕生日)にはきっと立ち直っていよう、と密かに念じた。

数年前、このカリアンドラはカイガラムシにとりつかれたり、台風で横倒しに、と、幾度も危機の状態を乗り越えているのだ。いつしかお気に入り私の心の支えになり、無事回復することができた。物言わぬ植物たちではあるが、人々の心を弾ませ見知らぬ人と志を結びつける力強さには、まだまだ学ぶことがありそうだ。



友の会では随時ボランティアを募集しています。ニュースレターの発送など、一緒に活動しませんか？

ご希望の方は友の会事務局までお問合せください。Eメール: hakubututomo@gmail.com

野外観察園 2025 夏

吉野奈津子

今年もまた暑い夏がやってきました。首にぬれタオルをかけておくだけでも大分違います。皆さん熱中症にはお気をつけて。

観察園はヤナギイチゴやハス、ネムノキ、セイヨウニンジンボクたちが花を咲かせています。ガマの仲間やカヤツリグサの仲間など、田んぼの脇や水辺に生えるような植物の花も色々咲いています。カヤツリグサの仲間は花といっても華やかさはなく、小さな花を分解して顕微鏡で見ないと種類を識別できません。最近に移入種や雑種もあり、更によく分からなくて作業はなかなか進みませんが、がんばって名札は付けたいと思います。

5月のとある日、池にカルガモがいるのを見つけました。エアレーションを入れているのでジャグジー風呂に入っているようです。ちょっと泡が激しすぎてリラックスできなさそうな気がしました。過去にカルガモの親子を学内で観察する機会が何度かあり、今年は観察園で子育てしてくれないかなと期待しましたが1日限りの訪問でした。やはり泡がお気に召さなかったのでしょうか。

春にご紹介した伐採木のアベマキベンチはカンナをかけて防腐の塗装をしてきれいになりました。また涼しくなったら散歩してみてください。



ヤナギイチゴ *Debregeasia orientalis* イラクサ科



ハス *Nelumbo nucifera* ハス科



名古屋大学博物館友の会ニュースレター 2025年7月14日発行

名古屋大学博物館友の会 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館 気付

電話：052-789-5767（博物館事務室） F A X：052-789-5896（博物館事務室）

Eメール：hakubututomo@gmail.com アクセス：地下鉄名城線「名古屋大学」下車 2番出口

ホームページ：http://www.num.nagoya-u.ac.jp/fan

年会費 1000 円（4/1～3/31） 10/1～3/31 に入会した場合は 500 円（次年度は 1000 円）

家族会員制度あり（同居の家族 1 名まで年会費を免除）

<振込先> ゆうちょ銀行 口座番号：00800-8-166807 加入者名：名古屋大学博物館友の会

他銀行からの振り込み 店名〇八九（ゼロハチキュウ） 店番（089）当座 0166807